



久歯）への生えかわりはおおよそ小学生時代。小学校一年生くらいで六歳臼歯という歯が奥に生えてきて前の方から徐々に入れ替わります。健全な状態であればきれいに生え変わり、きれいな歯並びができます。

よく問題になるのは、顎の大きさが十分ではなく、そこに大きな永久歯が生えてしまうと歯並びが乱れてしまうということです。このようなときは歯科矯正が必要になります。さて、この過程の中で最も重要なのは、六歳臼歯がしっかりと生えてくることです。当然ながら子供の口より大人の口の方が大きな体積です。横方向の広さもそうですが、縦方向の高さも重要です。この高さを確保

するために六歳臼歯が最初に登場するので。奥歯でしっかりと高さを確保するという事です。逆に、この歯の生え方に異常をきたすと全ての永久歯が十分に出来る事ができません。その結果歯並びが乱れてしまいます（僕がそうです）。

さて、子供時代もそうですが、大人になっても問題を生じることがあります。虫歯や歯周病で奥歯を失い、そのまま放置しておくとお歯が傾いたり折れたりしてしまい、噛み合わせの高さが低くなってしまいます。この状態で来院されても奥歯を入れるスペースがありません。そこで、入れ歯などで無理やり高さを確保していくのですが、慣れるまではかなりつらいものになります。筋肉は噛み合わせが低い状態で馴染んでしまっていますので。

奥歯は全部で16本。一本、二本位なくなっても大きな問題はありませんが、奥歯の噛み合わせが全くなくなって前歯だけしか残っていない方は要注意です。入れ歯は嫌だ！という気持ちはよく分かりますが、噛み合わせの維持のために必要なものなのです。

逆に「じゃあ、総入れ歯になったらうまくいくのか」と聞かれます。歯並びもきれいになるし全部の問題が解決しそうですよね。しかし：残念ながらそううまくはいかないのです。顎の位置関係を基準に入れ歯を作るので、元々噛み合わせが低い方に高い入れ歯は入れられないんです。

誰ですか、サメのように何度も歯が生えかわってくればいいなんて言っているのは！

